

平成27年度

教育委員会事務点検・評価報告書

平成28年 5月26日

竹原市教育委員会

目 次

1	教育委員会の事務の点検・評価制度について	1
2	平成27年度教育委員会議開催実績	2
3	評価の方法	6
4	平成27年度事業の点検及び評価	7
	(1) 学校・教育環境の充実	
	(2) 生涯学習の推進	
	(3) スポーツ・レクリエーションの振興	
	(4) 文化・芸術の振興	
	(5) 青少年健全育成の推進	
	(6) 人材育成の推進	
5	評価委員の点検・評価	16
6	参考資料	17
	I 平成27年度 広島県「基礎・基本」定着状況調査結果	
	II 平成27年度 新体力テスト結果等	
	III 平成27年度 図書館・美術館利用状況等	

1 教育委員会の事務の点検・評価制度について

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成20年度から、全ての教育委員会は、毎年度、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることも規定されています。

竹原市教育委員会では、この法律に基づき、教育委員会の事務の点検・評価を行い、教育行政サービスの質の向上と効率化を進めてまいります。

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (平成19年6月27日一部改正)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 平成27年度教育委員会議開催実績

教育委員会 開催年月日	開催回数 定例臨時別	議案 番号	件 名
H27. 4. 6	第2回 臨時会	28	竹原市嘱託外国語指導助手の任用について
H27. 4. 23	第4回 定例会	29	竹原市立学校学校評議員の委嘱について
		30	竹原市結核対策委員会委員の委嘱について
		31	市立竹原書院図書館協議会委員の任命について
		32	竹原市スポーツ推進委員の委嘱について
		報告 協議	学校施設の耐震診断結果の公表について
		報告 協議	小中一貫教育について
H27. 5. 14	第3回 臨時会	33	竹原市教科用図書採択地区選定委員会委員の委嘱について
		34	竹原市教科用図書採択地区調査員の委嘱について
H27. 5. 28	第5回 定例会	35	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（平成27年度教育委員会関係補正予算案）
		36	竹原市学校給食センター運営委員の委嘱について
		37	竹原市教育相談員の委嘱について
		38	竹原市公民館運営審議会委員の委嘱について
		39	竹原市社会教育委員の委嘱について
		40	平成26年度教育委員会事務点・評価報告書案について
		報告 協議	小中一貫教育について
H27. 6. 17	第4回 臨時会	41	教職員の人事について
H27. 6. 25	第6回 定例会	42	平成27年度準要保護児童及び生徒の認定について
		43	竹原市特別支援教育相談委員会委員の委嘱について
		44	竹原市特別支援教育相談委員会推進員の委嘱について
		報告 協議	学校施設の跡地利用について
		報告 協議	小中一貫教育について

H27. 7. 23	第7回 定例会	45	竹原市文化財保護委員会委員の委嘱について
		46	たけはら美術館協議会委員の任命について
		47	竹原市いじめ問題調査委員会委員の委嘱について
		48	平成28年度使用竹原市中学校教科用図書の採択について
		49	竹原市特別支援教育相談委員会規則の一部を改正する規則案
		報告 協議	小中一貫教育について
H27. 8. 27	第8回 定例会	50	平成28年度使用特別支援学級用教科用図書の認定について
		51	竹原市立学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則案
		52	障害児教育相談事業交通費支給要綱の一部を改正する告示案
		53	竹原市立学校等職員の自家用車の公務使用に関する取扱要綱の一部を改正する告示案
		報告 協議	小中一貫教育について
H27. 9. 24	第9回 定例会	54	竹原市公民館主事の任命について
		55	竹原市スポーツ推進委員の委嘱について
		報告 協議	小中一貫教育について
H27. 10. 15	第10回 定例会	56	職員の任命その他の人事について
		57	平成27年度準要保護児童及び生徒の認定について
H27. 11. 19	第11回 定例会	58	平成27年度準要保護児童及び生徒の認定について
H27. 12. 17	第12回 定例会	59	平成27年度準要保護児童及び生徒の認定について
		報告 協議	小中一貫教育について
H28. 1. 28	第1回 定例会	1	竹原市教育委員会委員長選挙について
		2	平成27年度準要保護児童及び生徒の認定について
		3	竹原市立学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則案
		報告 協議	小中一貫教育について

H28. 2. 15	第2回定例会	4	定例会市議会に提案される教育委員会関係の議案について（平成27年度教育委員会関係補正予算案）
		5	定例会市議会に提案される教育委員会関係の議案について（平成28年度教育委員会関係当初予算案）
		6	教育委員会及び市長の権限に属する事務の補助執行について
		請願 1	請願について
		報告 協議	小中一貫教育について
H28. 3. 16	第1回臨時会	7	平成27年度末・平成28年度始教職員の人事について
		8	竹原市教育委員会永年勤務職員表彰について
H28. 3. 23	第3回定例会	9	職員の任命その他の人事について
		10	平成27年度準要保護児童及び生徒の認定について
		11	竹原市立幼稚園長の委嘱について
		12	学校医の委嘱について
		13	学校薬剤師の委嘱について
		14	竹原市立公民館長の任命について
		15	竹原市立公民館主事の任命について
		16	竹原市嘱託学芸員の委嘱について
		17	平成28年度竹原市学校教育ビジョンについて
		18	竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区保存計画案
		19	竹原市立学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則案
		20	竹原市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則案
		21	市立竹原書院図書館嘱託員設置規則案
		22	竹原市教育委員会事務局の組織に関する規則の一部を改正する規則案
23	竹原市教育委員会職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則案		
24	竹原市伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則の一部を改正する規則案		

	25	外国青年勤務評定要領の一部を改正する告示案
	26	竹原市立小中学校適正配置懇話会設置要綱の一部を改正する告示案
	27	竹原市教育委員会永年勤務職員表彰実施規程の一部を改正する訓令案
	28	竹原市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令案
	報告 協議	小中一貫教育について

3 評価の方法

(1) 施策・事業の名称

前年度の教育要覧に記載された施策・事業について、6つの項目に分けて記しています。

(2) 内容

施策・事業の主要目標及び事業内容を記しています。

(3) 取組結果と自己評価

「取組結果」には、ねらいや目標達成のためにどのような取組を行ったか、その結果どのような成果があったかを記し、「自己評価」は次の4点から総合的な評価を行っています。

① 必要性

現在の市民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。

② 有効性

教育施策や運営方針にどの程度寄与しているかを評価します。

③ 目標達成度

目標の達成状況を評価します。併せて、目標の設定水準が適切かどうかも検討します。

④ 総合評価

各評価項目を勘案し、4段階総合評価を行います。

A	ねらいや目標は、十分達成された。
B	ねらいや目標は、ほぼ達成された。
C	ねらいや目標は、十分達成できなかった。
D	ねらいや目標は、まったく達成できなかった。

(4) 課題と平成27年度の取組方向

項目ごとに課題と平成27年度の取組方向を記しています。

(5) 評価委員による評価

3名の学識経験者の方による外部評価を行っています。

4 平成27年度事業の点検及び評価

(1) 夢をもち、子どもが輝く教育の実現を目指して、「就学前教育」「確かな学力の向上」「豊かな心と健やかな体の育成」「信頼される学校」「充実した教育環境づくり」の推進

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成28年度の取組方向
小・中学校施設耐震化事業 173,700千円	<p>【主要目標】児童生徒が1日の大半を過ごす場所であり、災害時には避難場所として使用される学校施設の安全確保を図る。</p> <p>【事業内容】児童生徒の安全な教育環境を確保するため、屋内運動場耐震化工事(大乗小・中通小・竹原中)及び屋内運動場非構造部材耐震化工事(旧忠海東小・竹原西小・東野小・荏野小・仁賀小・吉名小・賀茂川中)を行う。</p>	<p>平成23年度に小・中学校施設の全ての耐震診断が完了し耐震化計画を策定した。平成27年度は、大乗小・中通小・竹原中屋体の耐震補修工事を行った。吉名小校舎を除き、小・中学校施設の耐震化が完了した。</p> <p>《平成27年度未耐震化率》97.2%</p> <p>また、旧忠海東小、竹原西小、東野小、荏野小、仁賀小、吉名小、賀茂川中の屋内運動場の非構造部材耐震化工事を実施した。</p>	<p>平成28年度は、校舎(竹原小・中通小・竹原西小・旧館、管理棟)・荏野小・仁賀小・竹原中)及び柔剣道場(忠海中・賀茂川中)の非構造部材耐震化工事を行う。</p>
小・中学校施設改修事業 70,386千円	<p>【主要目標】建築後30年以上経過した学校が多く、施設の老朽化が進んだ学校施設の計画的な改修を図る。</p> <p>【事業内容】児童生徒の安全な教育環境を確保するため、プール濾過機修繕工事(竹原小・吉名小)、遊具新設改修工事(旧忠海東小・忠海小・大乗小・竹原小・中通小・竹原西小・荏野小・仁賀小)、消火器・消火ホース(各校)及び給排水施設整備工事(竹原中)を行う。</p>	<p>学校施設の計画的な改修を図り、児童生徒の安全な教育環境を確保するた小、プール濾過機修繕工事(竹原小、吉名小)、遊具新設改修工事(旧忠海東小、旧忠海西小、大乗小、竹原小、中通小、竹原西小、荏野小、仁賀小)消火器・消火ホース(各校)及び給排水施設整備工事(竹原中)を行った。</p>	<p>学校施設は、建築後30年以上経過した学校が多く、施設の老朽化が進んでいる。児童生徒の安全な教育環境を確保するため、今後も計画的な改修を進めていく。学校からの修繕要望や各種法定検査により、指摘のあった事項については、迅速に対応する。平成28年度は、受水槽更新工事(竹原中)を行う。</p>
小中一貫教育推進事業 2,233千円	<p>【主要目標】夢をもち子どもが輝く教育の実現に向けた質の高い教育活動を行う。</p> <p>【事業内容】忠海中学校区・吉名中学校区において、一体型小中一貫教育を推進するため、講演会及び先進地視察を行う。忠海中学校区は、平成27年9月に新施設が供用開始となるため、落成式を行う。</p>	<p>忠海中学校区では、平成27年4月に一体型小中一貫校「忠海学園」が開校。9月に新施設が供用開始され、落成式を行った。吉名中学校区では、設立準備委員会を開催し、新施設の基本設計が承認された。</p>	<p>吉名中学校区では、設立準備委員会において、小中一貫校の校名、校歌、校章等を協議し、決定する。</p>
小中一貫校施設整備事業 656,309千円	<p>【主要目標】夢をもち子どもが輝く教育の実現に向けた質の高い教育活動を行う。</p> <p>【事業内容】昨年度に引き続き、忠海中学校区において、一体型小中一貫校の整備を行う(小学校棟新築、校舎西棟耐震補強、校舎大規模改修、屋内運動場耐震補強、プール改修、小学生遊具設置、外構工事等)。吉名中学校区においては、施設整備に係る基本設計・実施設計を行う。</p>	<p>忠海中学校区では、平成27年7月に一体型小中一貫校「忠海学園」の新施設が完成した。8月には旧忠海西小学校からの移転が完了し、9月から供用開始した。吉名中学校区では、平成28年度からの小中一貫校整備工事に向けて、実施設計業務を行った。</p>	<p>吉名中学校区では、平成28年8月に吉名中から仮設校舎(吉名小)への移転、9月から小中一貫校整備工事を行う。</p>
学校給食運営事業 79,684千円	<p>【主要目標】市内全小・中学校に安全・安心な学校給食を提供するとともに、食育を推進する拠点として運営を行う。</p> <p>【事業内容】平成21年度に学校給食センターを整備し、平成22年9月から民間委託による調理業務を実施している。平成24年度から市内の全小・中学校への給食提供を開始し、平成27年度は13校に約2千食を提供している。</p>	<p>学校給食センターから市内全小・中学校に安全で安心な学校給食を提供するとともに、給食を教材とした食育(給食時間の学校訪問指導・給食試食会の開催等)や、給食に積極的に地場産物を取り入れることで地産地消の利点を指導した。</p> <p>また、民間委託による調理業務を継続し効率的な運営を図るとともに、民間のノウハウも取り入れて、衛生管理やアレルギー食への対応をさらに強化した。異物混入対策や衛生管理等に民間のノウハウを活用、アレルギー食への対応に専任の有資格の調理員を配置する等、対応をさらに強化した。</p>	<p>安心安全な給食の提供及び地産地消については概ね目標を達成できた。</p> <p>現在、給食調理を委託している民間業者の契約が平成28年8月末で満了するため、委託業者を公募型企画提案方式で公募し安全で効率的な運営を確保する。</p> <p>また、引き続き学校給食を食育の教材として、児童生徒の食への興味関心が高まる取組を実施していくとともに、円滑な学校給食の実施のため、保護者に対し、給食の重要性及び基本的な仕組みについて理解を促める。</p>

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成 28 年度の取組方向
食育推進事業 2,780千円	<p>【主要目標】 学校、地域及び行政の連携協力し、学校給食を教材として、日本の特徴である四季折々の「旬」や、地産地消の利点を学びながら、食事の準備ができる子を育成するため、家庭での調理体験や食材選びなどの実践力を高める食育推進を図る。</p> <p>【事業内容】 地場産物を使用した料理コンテストの実施。優秀作品等レシピ集の作成・配布。</p>	<p>家庭を巻き込んだ継続的な食育推進として、児童生徒が積極的に家庭で調理をすることで、家庭の食事の継承や家族との食卓の大切を気づくことなどを目的し、我が家のおすすり料理コンテストを実施した。</p> <p>児童生徒から、地場産物や地場産物を生かした家庭の自給料理 641 作品の応募があった。</p> <p>地域にも児童生徒の実践力を評価してもらったため、竹原市食育推進行動計画の推進団体である「たけはら食育未来会議」の我が家・我がま料理コンテストプロジェクトチームと共催し、審査会の調理や審査を依頼した。</p> <p>最優秀賞をはじめ、後援企業（アヲハタ・峠下・J A 三原）とたけはら食育未来会議より特別賞をいただき、より多くの児童生徒の調理を評価することができた。</p> <p>受賞作品のレシピ集を作成・配布し、ホームページでも紹介した。</p>	<p>児童生徒の家庭での実践には個人差があり、平成 27 年度食生活アンケートの結果でも、「料理を作るのが好き」と答えた児童 60%・生徒 53%だった。</p> <p>食事の準備ができる子の育成を図るためには、調理に対しての興味関心を高める必要がある。</p> <p>ひろしま給食プロジェクトの普及啓発時などを活用し、家庭で調理をする機会を設けるように働きかける取組を行っていく。</p>
外国語指導助手配置事業 12,186千円 小・中学校教育用 ICT 整備事業 27,995千円	<p>【主要目標】 ICT 機器を活用した思考力・表現力を育てる授業の充実を図る。</p> <p>【事業内容】 タブレット型端末整備（利用場所：パソコン教室、普通教室ほか） 小学校：244 台、中学校：140 台 電子黒板等 ICT 機器整備（利用場所：普通教室ほか） 電子黒板台教 小学校：49 台 中学校：22 台</p>	<p>市内幼稚園 1 園、小学校 9 校、中学校 4 校に A L T（外国語指導助手）を 3 名配置し、児童生徒の英語力とコミュニケーション能力の向上、国際理解の充実を図ることができた。また、A L T とのティームティーチングを行うことを通じて、小・中学校の外国語活動および英語教育の教員の指導力向上を図ることができた。</p> <p>平成 21 年度から電子黒板の整備を推進し、I C T 活用教育に重点的に取り組んできた。更なる発展を目指す、タブレット型端末の導入に向け、市内 2 校において実証実験を行い、本年度タブレット型端末及び授業・学習支援ソフトウェアを市内小・中学校の全てに整備した。</p> <p>本年度は導入期として、教員がタブレット型端末の基本的な操作方法や活用方法を習得できるように、I C T 支援員を 3 名配置した。また、各校の I C T 活用教育推進リーダーを対象とした年に 3 回の研修会や指導主事による学校訪問指導の実践的指導を通して、I C T を活用した児童生徒の思考力を育てる授業の充実を図ることができた。</p> <p>その結果、公開研究会ではタブレット型端末を活用した授業が行われ、分りやすい授業の実践への効果も確認された。</p> <p>小学校 2 校、中学校 1 校において本事業を実施することができた。</p> <p>児童生徒が夢を語り合い、郷土に対する親しみを感じ、主体的に生きていくための力を育てる取組を行った。</p> <p>【賀茂川中学校】自分達の学校を訪れた人達に清潔で気持ちのよい学校であると感じてほしい、竹原の地を訪れた人達には、郷土竹原の豊かな自然や風土を感じてほしいという生徒の願いから、清掃の技術や重要性について学び、日ごろの学校清掃だけでなく、地域清掃、出身小学校において小学生とともに里帰り清掃に取り組み、「おもてなし」の気持ちをもって清掃活動を進めることができた。</p> <p>【東野小学校】東野の歴史を表現した「東野太鼓」をよりよかつこよくし、伝統としてつなげていきたいという児童の願いを元に、演奏時に着用する法被作りに取り組んだ。学校行事や地域の行事には、その法被を着て「東野太鼓」を発表することができた。地域資源である「東野太鼓」を自分たちなりの方法で伝承することを通じて、郷土に対する親しみを感ずることができた。</p> <p>【大兼小学校】「峠下牛」はどのようなように育てられているのか、おいしいお肉をもっとたくさんの人に食べてほしいという児童の疑問や願いから、「峠下牛」のよさを調査、体験し、地元の人として定着させ、地域の特産物として広める活動を行った。</p>	<p>平成 28 年度 9 月からは、A L T を 1 人増員して 4 名体制にすることにより、小学校低・中学年の A L T によるティームティーチング授業を年間 27 時間程度増やし、児童生徒の英語力向上と国際理解を一層の充実を図る。</p> <p>引き続き電子黒板やタブレット型端末の活用を通じ、児童生徒が主体的・協働的に学び、思考力や表現力等を向上させるように、取組を推進していく。</p>
竹原っこ夢プロジェクト事業 1,000千円	<p>【主要目標】 児童生徒が夢と希望をもち、将来に向けて自主的・主体的に生きていくための「生きる力」を育む。</p> <p>【事業内容】 児童生徒から、本市の地域資源をテーマとした夢や希望を募集し、その実現に向けて支援を行う。 小学校 2 件、中学校 1 件を対象とする。</p>	<p>平成 28 年度も、この事業を積極的に活用し、児童生徒の自主的・主体的に生きていくための「生きる力」を育んでいく。</p> <p>児童生徒から、本市の地域資源をテーマとした夢や希望を募集し、その実現に向けて継続して支援を行う。</p> <p>積極的に児童生徒が夢をもてるような取組を進める。</p>	<p>児童生徒が主体的・主体的に生きていくための「生きる力」を育んでいく。</p> <p>児童生徒から、本市の地域資源をテーマとした夢や希望を募集し、その実現に向けて継続して支援を行う。</p> <p>積極的に児童生徒が夢をもてるような取組を進める。</p>

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成 28 年度の取組方向
理科補助員配置事業 4 2 3 千円	【主要目標】 小学校の理科授業の充実・活性化を図るとともに、教員の理科授業に関する指導力を向上させる。 【事業内容】 理科が得意な人材を小学校理科授業（5・6年生）に活用し、観察・実験活動等における教員の支援や、効果的な実験等の提示や体験活動などを行う。	市内2小学校（忠海小学校・荏野小学校）に理科観察実験補助員を配置した。各学年間 25 回（1回について3時間の支援）の活用で、理科室の整備をはじめ、理科授業の充実・活性化を図ることができた。 児童アンケートの結果 ・観察実験を通して問題を解決するようになった。肯定的回答 84% ・理科の授業がわかるようになった。肯定的回答 92%	理科の授業を通して、課題を発見し、主体的に問題を解決していく授業づくりを通して、問題解決力は育ってきている。より確かな問題解決力を育てるために、児童への観察・実験における細やかな支援を行うとともに、継続して教員の観察・実験等に係る指導力の向上も図っていく。
小学校公開授業研究会推進事業 1, 7 8 0 千円	【主要目標】 小学校教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。 【事業内容】 総合的な学習、各教科及び各領域での教育公開研究会を開催する。 【実施校】 ○ 忠海小学校（10月22日） ○ 大乗小学校（10月28日） ○ 竹原小学校（10月16日） ○ 中通小学校（1月27日） ○ 竹原西小学校（10月2日） ○ 東野小学校（10月7日） ○ 荏野小学校（9月30日） ○ 仁賀小学校（9月15日） ○ 吉名小学校（10月30日）	市内9小学校全てにおいて、教育研究の成果を広く普及するための公開研究会を開催した。 各校においては、公開授業後の研究協議会を充実させ、一人一人の児童に確かな学力を育成するための取組について深めることができた。また、各校に整備している電子黒板やタブレット型端末等の ICT 機器を効果的に活用し授業改善に努めるとともに、児童の実態を把握し、組織的な教育研究の充実と発展に向けた取組を推進していくことができてきている。	学力調査等の結果に基づき児童の実態を明らかにし、その課題の解決に向け、授業改善を生かした取組が推進されるよう教育研究会をより充実していく。
中学校公開授業研究会推進事業 5 3 4 千円	【主要目標】 中学校教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。 【事業内容】 基礎学力の定着を図るため、指導方法等の研究を公開する。 【実施校】 ○ 忠海中学校（10月22日） ○ 竹原中学校（10月13日） ○ 荏野川中学校（10月14日） ○ 吉名中学校（10月30日）	市内4中学校全てにおいて、教育研究の成果を広く普及するための公開研究会を開催した。 各校においては、公開授業後の研究協議会を充実させ、一人一人の生徒に確かな学力を育成するための取組について深めることができた。また、各校に整備している電子黒板やタブレット型端末等の ICT 機器を効果的に活用し授業改善に努めるとともに、生徒の実態を把握し、組織的な教育研究の充実と発展に向けた取組を推進していくことができてきている。	学力調査等の結果に基づき生徒の実態を明らかにし、その課題の解決に向け、授業改善を生かした取組が推進されるよう教育研究会をより充実していく。
学校緑化推進事業 6 5 0 千円	【主要目標】 小・中学校において学校緑化を推進し、学校の美化や景観の向上を促し、心豊かな環境を創出するとともに、児童生徒への環境に対する関心を高める。 【事業内容】 児童生徒を中心に計画的・組織的な校内の緑化活動を進めるとともに、家庭をまきこんだ取組に広げる。 【実施校】 ○ 小・中学校全校	市内小・中学校において、年間を通して、計画的に緑化活動に取り組み、学校の美化や景観の向上を通して児童生徒の心の安らぎと潤いのある環境を創出することに努めた。また、家庭部門では、市内小・中学校から 125 点の応募があった。外部の専門家から、「食育と緑化活動を融合させた特徴ある取組のアイデアが素晴らしい」という講評をいただいた。 最優秀賞・・・吉名小学校 優秀賞・・・竹原小学校、竹原西小学校 特別賞・・・竹原中学校、東野小学校	各学校の緑化活動をさらに充実させるためにも、各教科領域と関連させながら、児童生徒がさらに主体的に取り組むことができないような計画・実施の充実を図る。
幼稚園教育公開研究会推進事業	【主要目標】 幼稚園教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。 【事業内容】 基本的な生活習慣を身に付けさせ豊かな心を育てるため、指導方法等の研究を公開する。 【実施園】 ○ 竹原西幼稚園（9月18日）	「伝え合う喜びを味わわせる援助の工夫」を研究主題とし、進んで体を動かして遊ぶようになるために、発達段階に即した運動遊びの年間計画を作成し活動の内容や援助の工夫を図ることができた。また、園内研修会を12回行い、教職員の指導力の向上に努めた。また、公開研究会では、市内の学校の教職員はもとより、市外の幼稚園、地域の方々、保護者の方々の多くの参加をいただく実施することができた。	園児の実態に応じた様々な遊びを想定し、支援がなされていた。さらに、季節や異学年集団の特徴を生かした遊びを通して、園児の豊かな心を育むための指導方法や場の設定等について幼稚園教職員研修の充実を図る。

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成28年度の取組方向
学力検査事業 1, 786千円	【主要目標】 児童生徒の学力を把握するとともに、課題と取組を明らかにする。 【事業内容】 標準学力調査を実施し、その結果を分析し、学力向上を図る。	市内全小・中学校において（小学校1年生は除く）業者による学力テストを実施した。 各校において調査問題や意識調査等の結果の分析を行い、児童生徒の実態を把握し、授業改善に生かすとともに、課題克服に向けた組織的な教育研究を進めた。また、他の学力調査等との比較を行い、より精度の高い分析を行いながら取組を進めることで、より効果的な取組を進めることができた。	標準学力調査を継続して実施し、その結果を分析し成果と課題を明らかにし、課題改善に向けた取組をすることで学力向上を図る。
体力テスト事業 371千円	【主要目標】 児童生徒の体力を分析し、課題と取組を明らかにする。 【事業内容】 全学年体力テストを実施し、その結果をもとに体力運動能力向上を図る。	各小・中学校において、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を受け、自校の課題や改善に向けた取組をまとめ、計画的に児童生徒の体力行動を推進することができた。また、各校の体力づくり推進リーダーを対象とした市主催の研修会を通して、児童生徒の体力向上のための実践力を高めることができた。	市内小・中学生、中学生の体力の課題について焦点化するとともに、その改善に向けて重点的に取り組む体力運動能力向上計画を作成し、課題解決に取組の充実を図る。
総合的な学習の時間等の推進事業 963千円	【主要目標】 小・中学校における総合的な学習の時間の授業を充実させる。 【事業内容】 地域の方や、特技のある方を講師として招聘するとともに生徒の職場体験学習等を推進する。	今年度、「広島版『学びの变革』アクション・プラン」を受け、各学校において児童生徒が主体的に学ぶことができるよう課題発見・解決学習等の学習方法を取り入れ、総合的な学習の時間を進めることができた。その中で、地域資源を生かした人材を講師と招き、学習の充実を図ることができた。 中学校では、6月15日から6月19日の5日間、第2学年198名が市内の130の事業所で職場体験学習を行った。事後の生徒アンケートでは、コミュニケーション能力や主体的に取り組む意欲、郷土愛について事前アンケートよりも肯定的に自己評価をする生徒が多く、成果が現れている。	単元全体のどの時間にも、どのような講師を招聘するか、さらに効果的な活用が大切である。 職場体験学習においては、事後の学校生活との関連を図り、系統的なキャリア教育を進める必要がある。
教育相談事業 4,040千円	【主要目標】 学校で対応できない複雑化・多様化するいじめ、不登校等の教育問題について相談・支援業務を実施し、児童・生徒等の健全育成を図る。 【事業内容】 教育相談室において、不登校やいじめ問題等に対する相談活動を行う。業務の一部を民間委託し、休日・夜間も相談業務を行う。	教育相談室に1名の非常勤教育相談員を配置し、不登校をはじめとする生徒指導上の問題行動に係る相談・支援を受けている。不登校児童生徒の学校復帰へ向けての学習支援等を行ったり、生徒の立ち直り支援に向けての活動も行ったりしている。	教育相談室と学校、家庭との連携を密にし、児童生徒への学校復帰支援や立ち直り支援を三者で行い、より効果的なものへとしていく。

(2) 新しい生涯学習の推進を目指して、「生涯学習推進の仕組みづくり」「多彩な生涯学習機会の確保・充実」「生涯学習関連施設の整備・充実と有効活用」の推進

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成28年度の取組方向
公民館運営事業 16,769千円	【主要目標】 生涯学習の基本理念である、生涯「いつでも」「どこでも」「だれでも」を推進するため、自由に学習機会を選択して学習することができ、その学習成果が地域社会において適切に評価されるような社会をめざして諸条件を整備する。 【事業内容】 ひとつづくり・まちづくりの学習拠点施設として、社会教育・生涯学習推進事業として各種講座を開講する。 ○ その他各種級講座 《実施時期》 5月～3月 ○ 公民館まつり・産業文化祭 《実施時期》 11月～3月 ○ 公民館役職員研修等 《実施時期》 5月～3月 ○ 子育て支援事業 《実施時期》 5月～3月 ○ スポーツ大会・スポーツ教室 《実施時期》 5月～3月 ○ 地域環境活動事業 《実施時期》 6月～3月 ○ 公民館だより発行 《実施時期》 毎月1回	生涯学習の理念に基づき、住民ニーズを把握して学習機会や情報提供を行っている。 また、公民館職員の資質向上のため、毎年、研修を実施しているが、今年度は「人材育成・キャリア教育」について、先進事例の取組などを学ぶとともに、現地視察も実施し、各公民館における今後の事業展開の参考とするべく研修会を2回実施した。 「知の循環型社会の構築」に向けて、これからの生涯学習に係る市の方針について、公民館運営審議会や公民館連絡協議会に対し説明した。	「知の循環型社会の構築」を目指し、平成26年3月に社会教育委員会から提出された答申「これからの生涯学習の推進方策について」を踏まえ、より良い生涯学習を推進する仕組みづくり・環境づくりについて、まちづくり推進課と連携を図りながら、協議・検討を進める。

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成28年度の取組方向
成人式事業 6,300千円	<p>【主要目標】 新成人者を対象とした実行委員会委員を公募により募集し、成人者となったことの自覚を促し、保護者及び関係者(多くの市民)と共に祝福する。</p> <p>【事業内容】 ○ 式典(市長メッセージ、来賓祝辞、新成人誓いの言葉) ○ アトラクション</p> <p>【開催時期】 平成28年 1月 9日(土)</p> <p>【開催場所】 竹原市民館ホール</p>	<p>新成人者による実行委員会を組織し、成人式の企画・運営を行った。実行委員会が会議を重ねて、成人者の心に残り得るような成人式を実施した。子から親への感謝の手紙や恩師等からのビデオレターを行い、大変好評であった。また、実行委員会がプログラムや楽球状の作成、ロビーの飾りつけを行い、手作り感のある成人式ができた。</p>	<p>実行委員会委員の公募は、広報やホームページへの掲載により募集しているが、応募が少ない。 平成28年度においても、成人式事業を実施する。</p>
自動車文庫事業 1,060千円	<p>【主要目標】 市立竹原図書館は、公共図書館として、全ての市民に図書を提供する環境整備を図るため、距離的、時間的、その他の事情によって直接図書館を利用することが困難な市民に、できるだけ図書の提供が均等化するよう努める。その有効な方策として自動車文庫「わかたけ3号」を運行し、図書の提供の拡大と充実を図っている。平成16年度より、市内全保育所・小学校へも巡回イベントに参加し、PR・貸出・返却・本の読み語りを実施する。</p> <p>【事業内容】 ○ 37ステーションを8コースに分け、毎月1回巡回。 ○ 自動車文庫に約2,500冊(成人、児童向けを各50%)を積載して貸出・返却を行う。</p>	<p>37ステーションを8コースに分け、毎月1回巡回し、貸出、返却読みたい本のリクエスト受付などを行った。 小学校巡回時には、わかたけ号積載の本以外に約500冊の絵本や児童書・紙芝居など、児童生徒が多くなる本に触れ、自分で選び借ることができるよう対応した。また、短い休憩時間で、貸出、返却処理ができるよう職員を増員し、対応した。 全保育所・小学校・中学校・放課後児童クラブへの団体貸出を行い、各所へ本を搬送した。(毎月本の入れ替えを行った) 自動車文庫(移動図書館車)を多くの方々に知って、利用していただく機会として市内のイベント(電源開券1日開放デー・ふくし健康まつり)に参加し、貸出・返却を行った。 福祉施設をステーションに組み入れ、巡回し、入所者・作業者への本の貸出を行った。</p>	<p>ステーションまで来られない方への対応として、公民館や支所での取り継ぎについて、検討中である。</p>
新1年生ブックスタート事業 288千円	<p>【主要目標】 読書に興味を持ち、持続的な読書習慣を家族とともに作り出す。</p> <p>【事業内容】 ○ 小学新1年生に絵本『ペーター・プムのともだちさがし』を読書意欲の継続と向上を目的に読書カードと共に配布する。 ○ 1年間(平成28年2月末日まで)に多く読んだ児童を表彰する。</p>	<p>小学新1年生に『ペーター・プムのともだちさがし』をプレゼントした。同時に読書カードを配布した。そのカードに1年間に読んだ本を記入し、図書館に提出してもらい表彰した。</p>	<p>持続的な読書習慣を家族とともに作り出すきっかけ、手助けとなるよう引き続き新1年生全員に1冊の本をプレゼントする。 また、学校と連携しながら、学校図書館整備や自動車文庫事業など本に触れ合う機会提供に努めていく。</p>
学校図書館支援事業 140千円	<p>【主要目標】 児童生徒に愛され利用しやすい学校図書館を目指して整備をすると同時に、地域コーディネーター・ボランティアを養成することにより、学校教育を支援する。</p> <p>【事業内容】 平成21年度から読書の森づくり事業・学校図書支援事業で改造・整備を行った市内小学校9校の図書館の現状や支援(整備)ボランティア活動の様子把握し、整備の方法・進め方について研修会を開催し今後の活動に繋げていく。</p>	<p>地域コーディネーター・ボランティアに対して、学校図書館の整備(図書の払い出し・分類・書架整理・本の修理の基本について研修会を行い、スキルの上を図った。 読書の森づくり事業・学校図書支援事業として取り組んだ各校を、巡回し整備の方法等について、指導・助言をした。</p>	<p>学校図書館に学校司書が配置されることから、学校司書と連携し、学校図書館の協力・支援に努める。</p>

(3) だけれどもがスポーツ・レクリエーションに親しむことを目指して、「スポーツ・レクリエーション活動の充実」「スポーツ指導体制の確立」「スポーツ・レクリエーションの場の整備・充実と有効活用」の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成28年度の取組方向
学校体育施設開放事業 1,622千円	<p>【主要目標】 学校等の体育施設(屋内運動場・夜間照明・グラウンド)を開放し、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、一人ひとりが積極的に関与することにより、自己の健康保持、体力増進に関心を高める。</p> <p>【事業内容】 学校体育施設(市内小学校12校、旧小学校2校、志穂高等学校、竹原高等学校)に管理指導員を置き、地域住民のスポーツ活動を推進する。</p>	<p>学校開放施設16施設(市内小学校12校、旧小学校2校、高校2校)を利用状況に応じて、各90日から160日間開放し、各種競技を通じて、地域住民の健康増進や競技力の向上、生涯スポーツの推進を図っている。</p>	<p>学校等と連携して、体育施設(屋内運動場・夜間照明・グラウンド)を開放することにより、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進に努める。</p>

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成28年度の取組方向
スポーツ推進委員活動事業 4,550千円	<p>【主要目標】 スポーツの振興のため、地域住民に対しスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導・助言を行う。また、各種研修会・研究大会等にも参加し、相互の情報交流と資質の向上を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 竹原市スポーツ推進委員総会 ○ 尾三地区スポーツ推進委員協議会定期総会及び交流競技大会 ○ 尾三地区スポーツ推進委員研修大会 ○ 広島県スポーツ推進委員研究大会 ○ 広島県女性スポーツ推進委員研修会 ○ 広島県総合マナーメント研修会 ○ 広島県新任スポーツ推進委員研修会 ○ 各地域のスポーツ振興の指導・助言 	<p>各種研修会等に出席するとともに、ロードレース大会などの各種スポーツ大会の運営協力や、吉名町スポーツ振興会主催のスポーツ行事における体カラストの実施など、スポーツ振興に寄与した。</p> <p>平成27年度は、広島県スポーツ推進委員研究大会を尾三地区（尾道市）で開催し、本市も大会に参加するとともに、大会運営にも協力した。</p>	<p>スポーツ推進委員が積極的に研修会や研究大会等に参加し、相互の情報交流や資質向上を図っていく。</p>
各種体育大会・行事運営事業 5,098千円	<p>【主要目標】 生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、住民一人ひとりが積極的にスポーツに親しみ、自己の健康保持・増進、体力づくりに関心を高めるため、各種教室、大会行事等を実施する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 竹原市女性バレーボール大会 ○ 市民ハイキング ○ 竹原市民体育大会 ○ 竹原駅伝競走大会 ○ 竹原ロードレース大会 ○ 芸南学童水泳大会 ○ 竹原市少年野球大会 ○ 竹原市少年サッカー大会 ○ 竹原市バレーボール講習会 	<p>少年野球大会、芸南水泳大会など青少年スポーツ活動育成事業や、竹原駅伝競走大会等、社会体育行事を開催した。竹原ロードレースでは、14部門に726名が参加し、市外からの参加者も多く、県内の恒例行事として定着している。また、市民体育大会も40回を数え、12競技部門で継続保持増進や親睦が図られた。</p> <p>チャレンジデーターでは、市内事業所への協力依頼や報道機関への情報提供をしたことで、過去最高の参加率（66.9%）を得ることができた。また、対戦相手の秋田県にかほ市にも勝利することができた。</p>	<p>各種体育大会・行事を体育協会等の関係団体と連携・実施し、スポーツ振興を図る。</p>
体育施設管理維持事業 4,352千円	<p>【主要目標】 市内の体育施設を開放し、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、一人ひとりがスポーツ・レクリエーションに親しみ、自己の健康保持・増進について関心を深める。</p> <p>【事業内容】 市民の体育・スポーツの普及・振興及び健康で文化的な行事、スポーツ・レクリエーション等の用に供するため体育施設を開放し、健康・体力づくりの推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合公園ハンプー・ジョイ・ハイランド <ul style="list-style-type: none"> ・体育館アリーナ……バレーボール、バスケットボール、卓球、剣道、バドミントン、ソフトテニス、フットサル ・多目的グラウンド……ソフトボール、サッカー、野球、ゲートボール、グラウンドゴルフ ・テニスコート ・トレーニングルーム ○ 竹原市営相撲場 ○ スポーツ広場……忠海・小梨・大井・宿根・田万里スポーツ広場 ○ 学校体育施設 <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド等……ソフトボール、野球、サッカー、テニス ・屋内運動場……バレーボール、ソフトバレー、バドミントン、バスケットボール、ビーチバレー、卓球 	<p>総合公園ハンプー・ジョイ・ハイランド体育施設において、多目的グラウンド観覧席下のトイレのハイプシャッターの取替（取付）及びグラウンド出入口のハイプシャッターの調整を行い、利用者の利便性の向上を図った。施設の管理については、指定管理者であるNPO法人ハンプー・スポーツクラブにおいて、各種スポーツ教室・大会の実施や住民交流事業を開催し、体育・スポーツ振興を図っている。</p> <p>また、市内小中学校の各グラウンド照明の修繕や、大井スポーツ広場のトイレ（手洗場）修繕を行い、施設の利用環境の向上を図った。</p>	<p>総合公園ハンプー・ジョイ・ハイランドなどの体育施設の適切な維持管理により、スポーツ環境の整備・充実に努める。</p>

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成28年度の取組方向
文化振興事業 1, 676千円	<p>【主要目標】 竹原市総合文化祭を竹原市文化団体連盟及び竹原市芸術文化振興協議会と、共催して開催するなど、市内の文化活動の推進を図る。また、美術展示会を同様で開催するなどして、芸術振興を図る。</p> <p>【事業内容】 ○ 竹原市総合文化祭開催 ○ 竹原市美術展開催 ○ 市内小中学校図画・書道展 ○ 美術展示会・コーラス発表会等開催</p>	<p>竹原市総合文化祭 10月17日(土)～11月8日(日) 竹原市文化団体連盟 30団体のうち25団体が展示・舞台発表等参加。 竹原市美術展 10月27日(火)～11月3日(火) 竹原市小中学生図画書道展 11月4日(水)～11月8日(日) 芸術文化活動支援事業については、6団体に支援を行った。引き続き利用促進による芸術文化の振興を図る。</p>	<p>引き続き、竹原市文化団体連盟と竹原市芸術文化振興協議会が、竹原市総合文化祭を共催して開催し、文化活動の振興を図る。 東京藝術大学生・大学院生による竹原芸術イベント事業を行う。 竹原市の文化芸術の発展・普及に寄与することを目的に事業を行う。</p>
常設展開催経費 2, 852千円	<p>【主要目標】 当館所蔵の作品をテーマ別に紹介する所蔵品展と併せて、池田勇人元首相の写真展示を開催していく。</p> <p>【事業内容】 ○ 所蔵品展 会期： 4月24日(金)～ 6月21日(日) ○ 所蔵品展 会期： 6月26日(金)～ 8月23日(日) ○ 所蔵品展 会期： 9月 9日(水)～ 10月12日(月) ○ 所蔵品展 会期： 1月15日(金)～ 3月21日(月)</p>	<p>平成27年が池田勇人没後50年ということで、池田勇人元首相が所蔵していた作品を中心とした展示を行った。 池田勇人元首相の写真パネルも併せて展示した。 フェイスブックやツイッター等を活用して情報発信を行った。</p>	<p>引き続きフェイスブック等を活用して情報発信を行っていく。 また、展示のあり方についても検討していく。</p>
芸術体験事業 20千円	<p>【主要目標】 作品の製作過程を体験することで、芸術に対して関心を深める。</p> <p>【事業内容】 ○ 絵付けをしよう</p>	<p>11月14・15日に開催。竹原市美術協会の工芸部の会員に講師を依頼し、美術体験講座を開催し、オリジナルの置物を作った(素焼きの甲に色付けを行った)。 参加者は、28名で、楽しく取り組まれ、焼き上がりの色が、色付けした時のイメージとは違う事に面白さを感じておられた。次も開催するなら参加したいという人も多く、作品の製作を体験してもらったことで、芸術に対する関心を深めることにつながった。</p>	<p>学校と連携した芸術体験事業を実施することにより、文化芸術の普及に努める。</p>
特別展開催経費 4, 992千円	<p>【主要目標】 池田勇人元内閣総理大臣没後50年に併せ、これまでの功績をたどり、広く周知するとともに、美術館の有効活用や魅力向上を図る。</p> <p>【事業内容】 池田勇人の「言葉」を通して、人間性と魅力、自身を育んだ人々と郷土、政治家としての思いを「その言葉と人生」と題して細解っていく。総理・大臣時代、幼年～学生時代、官制時代の3つの項目に分け、所蔵品と併せ紹介する。図録を製作する。</p>	<p>10月24日～12月23日に没後50年池田勇人展を開催。 池田勇人が残した言葉に焦点をあて、彼の政治信念・功績・人柄を紹介し、愛用品やコレクションによって、人生の足跡を辿る展覧会。 併せて図録も製作。また、広報たけはらに「池田勇人伝」を掲載し、人柄や功績を伝え入館者を増やすよう努めた。 没後50年の節目に、多くの来館者が訪れ、図録も併せて購入する人が多く、美術館の魅力向上を図ることが出来た。</p>	<p>作家集団・工芸京都による展示を行う。陶芸・染色・織物・金工・漆芸等色々な分野の作家によって美術館の有効活用や魅力向上を図っていく。</p>
泉美展開催経費 343千円	<p>【主要目標】 広く市民から美術作品を公募し、優れた作品を展示することにより、創作活動を奨励するとともに、鑑賞の機会を提供し、芸術文化の向上を図る。</p> <p>【事業内容】 開催日 9月2日(水)～9月6日(日)</p>	<p>9月2日～6日に開催。 入賞作品と地元の入選作品を2階展示室に展示。 期間中の来館者数は362人(平成26年度は391人)</p>	<p>来館者数が増加するよう引き続き、フェイスブック等を活用して情報発信を行っていく。 A 1階展示室で開催する。</p>

(5) 青少年が家庭や地域のあたたかさを感じながら成長することを旨として、「青少年の健全育成」「青少年がいまいきいきと活動できる環境づくり」の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成28年度の取組方向
竹原市青少年指導員設置事業 195千円	<p>【主要目標】 学校外における青少年の問題行動が行われにくい場所を巡回し、状況を把握するとともに、指導し、学校・警察関係機関（団体）等との連携を図り、青少年の健全育成を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市内巡回指導 ○ 学校・警察関係機関（団体）等との情報交換をし、青少年の健全育成を図る。 <p>《実施時期》 7月～3月</p>	7月14日に研修会を実施し、竹原警察署から「青少年の現状について」の実態を聞いた後、地域別連携を行った。各中学校区の指導員で日程を調整し、各地区の祭り等青少年の問題行動が行われやすい行事また、コンビニや公園等の場所を中心に巡回し、問題の早期発見に努めた。	地域により巡回による青少年健全育成に対する温度差があり、取組回数等に差が生じている実態がある。
子ども会育成事業 220千円	<p>【主要目標】 子ども会育成団体及び関係機関の自主運営の促進を図り、子ども会組織の自立並びに、子ども会活動の円滑な運営を推進し、青少年の健全育成を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 竹原市子ども会育成連合会理事会 《実施時期》 5・12月 ○ 竹原市子ども会育成連合会総会 《実施時期》 6月 ○ 竹原市子ども会育成連合会創作大会 《実施時期》 2月 	<p>6月20日（土） 総会</p> <p>5月21日（木）・12月10日（火） 理事会実施</p> <p>竹原市子ども会育成連合会大会「子ども創作大会」を2月13日（土）に実施した。広島大学の学生に講師を依頼し、手作りおもちゃ等の創作教室を行った。平成26年度より会場を文化創造ホールに変更したことでも市内各小学校より参加があり、参加者数が2年続けて増加している。今年度は95名の児童が参加した。集団作業により子どもの創造性を育て、相互の交流と協調性の育成を図れた。また保護者間の交流により地域の子どもの会の活性化を図れた。</p>	6月の総会後に行われる研修会の参加児童数が少ないため、理事会において案内の方法・内容の見直しを行う。

(6) 人材育成の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成28年度の取組方向
学校教育における人材育成事業	<p>【主要目標】 教職員一人ひとりの能力・適性等に応じた人材育成を図るための研修の充実を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長による人材育成計画の作成と竹原市教育委員会との協議 ・指導主事による学校訪問指導 ・竹原市教育委員会主催の研修会の実施 	今年度も学校教育の基盤の確立と教職員一人一人の能力や適性等に応じた指導力の充実な向上を図るとともに、人材育成を視点とした研修及び訪問指導等を計画的に実施した。また、学校長が作成した人材育成計画に基づき、各種研修会へ計画的に推薦した。年間80回を超える指導主事等による学校訪問指導、年間を通して市主催の研修を実施し、人材育成の充実を努めた。	継続して、ライフステージに応じて、教職員としての資質能力の向上をより効果的に行うために、授業力向上の強化等を図る。また、校外と校内の研修を関連付けられるよう取り組み、より充実を図っていく。
生涯学習・社会教育における人材育成事業	<p>【主要目標】 生涯学習・社会教育における人材育成を図るため、研修の充実を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「親の力」をまなびあう学習プログラムを活用した研修の実施 ○ 公民館職員研修の実施 ○ 図書館職員研修への参加、各種行事への参加 ○ 文化担当職員の研修への参加 	<p>公民館の館長・主事・運営委員を対象に、基礎的な知識や社会教育関係事業の企画・立案・実施に係る技能等を習得し、職員の資質の向上や情報交換を図るとともに、学習プログラムの企画（実践）力を身につけるため、職員研修を実施した。（2回）</p> <p>「親の力」をまなびあう学習プログラムについては、保育所・幼稚園・小学校（PTA）等からの要望に基づき実施しているが、平成27年度は要望がなかったため、実施しなかった。</p> <p>図書館では、広島県教育委員会や広島県立図書館等が開催する図書館職員研修に参加し、情報収集や業務に活かしている。</p> <p>また、乳幼児への読み語りや小中学生に行なうブックトークに伴う職員間の研修などを行い、図書館行事に対応できる人材の研修に努めている。</p> <p>文化担当職員の情報収集や資質向上を図るため、伝説的建造物保存協議会総会・研修会等に参加し、文化財保存における課題や今後のあり方等について研修を行った。</p>	引き継ぎ、生涯学習・社会教育における人材育成を図るため、職員研修の確保に努め、資質の向上や人材交流につなげていく。

5 評価委員の評価

【評価委員】	広島大学大学院名誉教授	岡 東 壽 隆
	元公立小学校校長	國 竹 鈴 子
	元竹原市PTA連合会会長	吉 本 大次郎

教育委員会の事務の点検及び評価を行うにあたり、平成28年5月10日に学識経験者3名により、次のとおり点検及び評価をいただきました。

[外国語指導助手配置事業]

小学校の外国語活動の充実を図ることを目的に、英語教科の免許を有する中学校教諭について、竹原中学校区の小学校と兼職させ、配置しているとのことだが、外国語指導助手による英語教育を進めていくだけでなく、英語教育に関わる教員の指導力もより高めてほしい。

[小・中学校教育用ICT整備事業]

小学校の公開研究会の際、児童が授業でICT機器を楽しく使いこなしている様子を見ることができ、授業に関わる興味関心が向上していると感じた。また、ICT支援員を中心に教員に対して活用方法などの声かけを行うことにより、充実が図られており、教員が児童生徒の関心を引き付けることができた実感したという手ごたえもあるようである。今後も、ICT機器の活用については、各学校の推進リーダーを中心に教員の研修を充実させるとともに、利用計画を立てながら、教科によっては、活用しやすいもの、逆に活用しにくいものがあると思われるので、それぞれの教科、授業のどの場面で活用することが児童生徒にとって実力がつか研究し、より効果的に活用してほしい。

[生涯学習]

全体的には充実していると思う。知の循環型社会の構築に向けて、今後の方向性を検討するに当たり、地域の理解を得ながら、公民館が担う生涯学習と協働組織との連携を図り、多くの人が公民館に行ける居場所づくりに取り組んでほしい。

平成27年度広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果

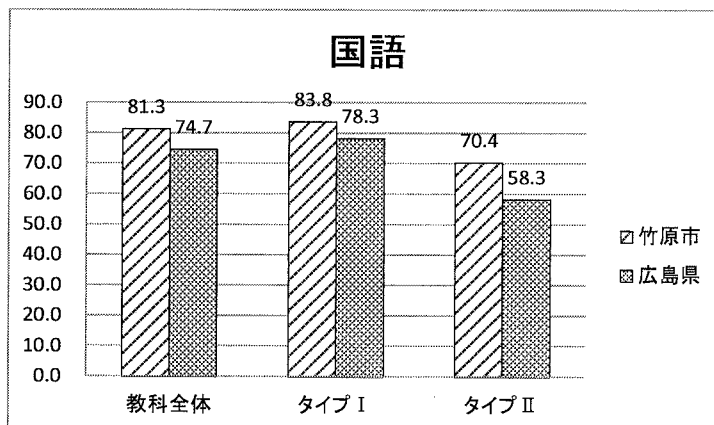
平成27年度の調査結果は次のとおりです。市内各校はそれぞれの結果を基に、改善計画を立て、一層の学力向上に取り組んでおります。詳細につきましては、各校のホームページ等をご覧ください。

実施日：平成27年6月9日（火） 実施対象学年：小学校第5学年，中学校第2学年 実施教科：小学校（国語，算数，理科）中学校（国語，数学，理科，英語）

平成27年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果【小学校】

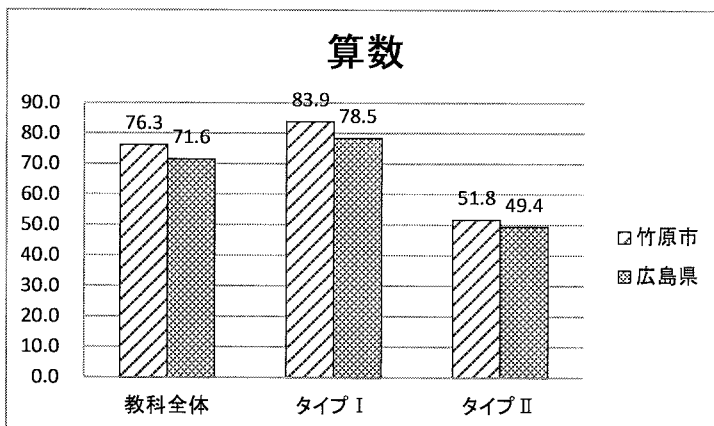
国語

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	81.3	83.8	70.4
広島県	74.7	78.3	58.3



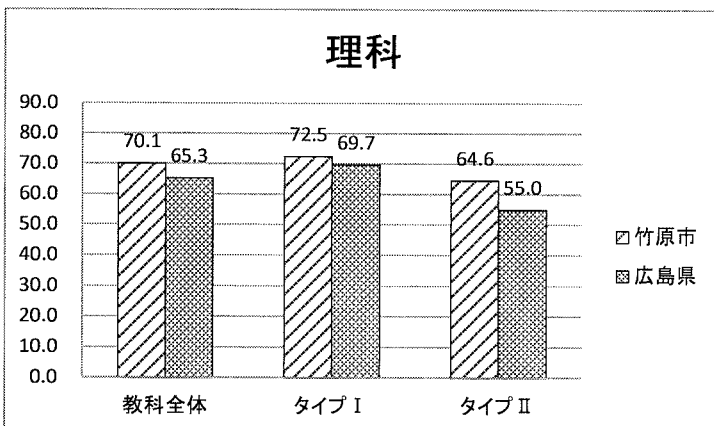
算数

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	76.3	83.9	51.8
広島県	71.6	78.5	49.4



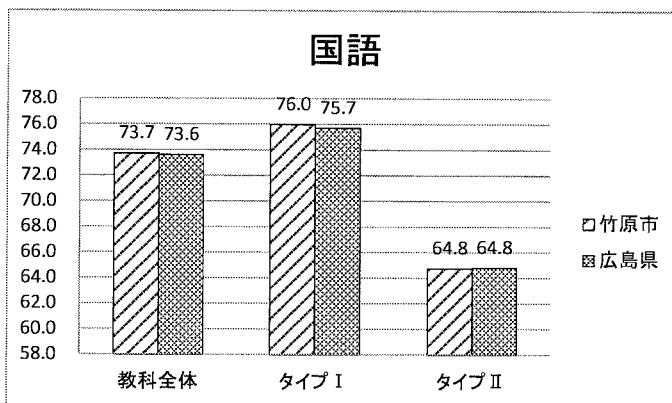
理科

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	70.1	72.5	64.6
広島県	65.3	69.7	55.0

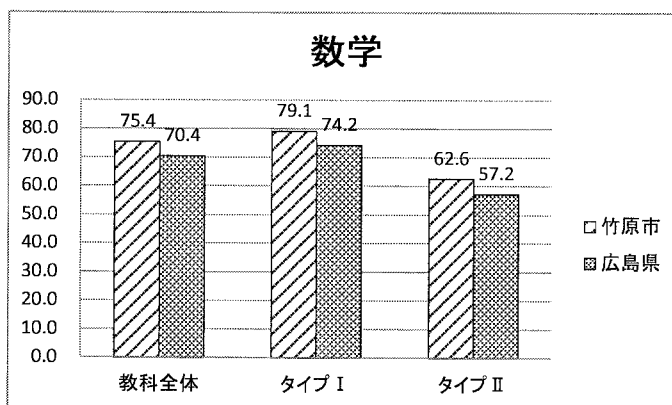


平成27年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果【中学校】

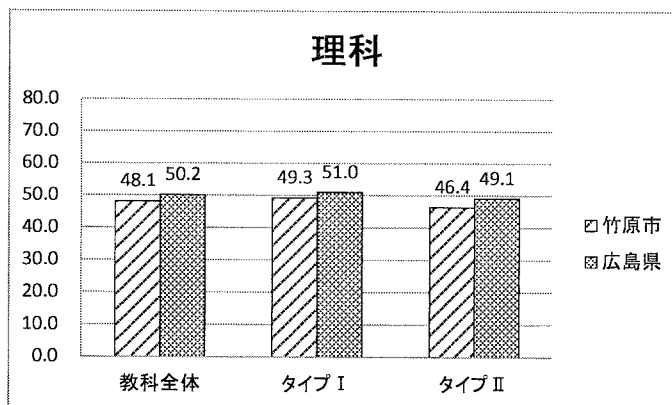
	教科全体	タイプ I	タイプ II
竹原市	73.7	76.0	64.8
広島県	73.6	75.7	64.8



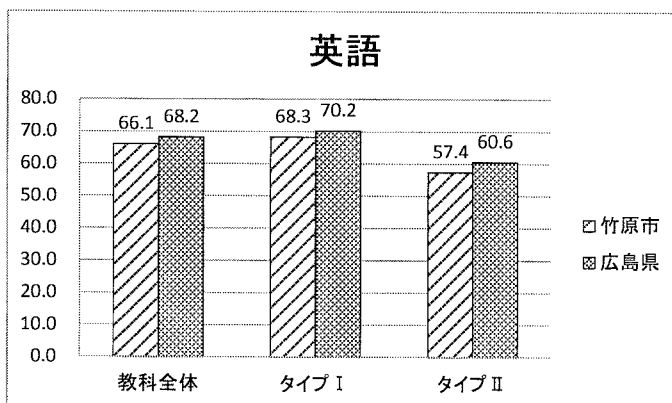
	教科全体	タイプ I	タイプ II
竹原市	75.4	79.1	62.6
広島県	70.4	74.2	57.2



	教科全体	タイプ I	タイプ II
竹原市	48.1	49.3	46.4
広島県	50.2	51.0	49.1



	教科全体	タイプ I	タイプ II
竹原市	66.1	68.3	57.4
広島県	68.2	70.2	60.6



平成27年度体力テストの結果

小学校第5学年

小学校第5学年男子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点 (点)
H27竹原市	18.48	21.60	35.43	45.74	59.40	9.21	148.04	25.00	57.75
H26竹原市	18.01	22.66	39.05	44.05	63.31	9.29	156.94	26.82	59.41
H27広島県	16.75	21.29	33.76	44.10	55.80	9.24	154.61	24.56	56.31
H26全国	16.97	20.24	32.87	42.88	54.90	9.21	155.03	23.65	55.62

小学校第5学年女子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点 (点)
H27竹原市	18.57	22.98	40.46	44.72	48.74	9.37	148.92	16.25	61.69
H26竹原市	17.63	20.79	43.83	42.98	49.67	9.74	152.27	16.41	60.93
H27広島県	16.35	20.20	38.00	42.06	44.57	9.53	148.04	15.00	57.77
H26全国	16.78	18.82	37.59	40.63	43.95	9.45	147.94	14.71	57.12

中学校第2学年

中学校第2学年男子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点 (点)
H27竹原市	30.91	28.48	46.20	53.12	363.38	78.60	7.94	192.43	21.18	43.31
H26竹原市	31.49	28.05	45.91	53.02	427.64	86.45	7.93	198.66	22.79	44.15
H27広島県	29.69	28.73	45.00	53.95	389.88	86.27	7.87	198.56	21.35	43.95
H26全国	30.15	28.44	43.97	53.06	370.82	90.80	7.78	197.71	21.49	44.67

中学校第2学年女子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点 (点)
H27竹原市	25.13	24.06	47.16	47.64	303.58	51.63	8.87	166.02	13.98	50.21
H26竹原市	25.11	23.93	47.58	47.20	306.00	54.93	8.89	166.73	13.92	50.20
H27広島県	24.13	24.59	47.65	47.95	293.74	58.59	8.77	171.16	13.56	51.15
H26全国	24.37	23.74	46.58	47.05	278.41	61.89	8.66	170.71	13.54	51.44

平成25～27年度 生徒指導上諸問題の状況

暴力行為		竹原市		広島県	
		発生 件数	1000人 あたり	発生 件数	1000人 あたり
小学校	H25	4	3.2	373	2.5
小学校	H26	9	7.4	540	3.6
小学校	H27	1	0.8		
中学校	H25	11	15.9	891	12.5
中学校	H26	18	28.8	849	12.0
中学校	H27	3	5.0		

いじめ		竹原市		広島県	
		認知 件数	1000人 あたり	認知 件数	1000人 あたり
小学校	H25	5	4.0	529	3.5
小学校	H26	6	4.9	480	3.2
小学校	H27	2	1.7		
中学校	H25	4	5.8	414	5.8
中学校	H26	6	9.6	392	5.5
中学校	H27	4	5.0		

不登校		竹原市		広島県	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)
小学校	H25	9	0.72	640	0.42
小学校	H26	8	0.65	708	0.47
小学校	H27	4	0.34		
中学校	H25	25	3.62	1,815	2.54
中学校	H26	18	2.88	1,814	2.56
中学校	H27	22	3.72		

参考資料 3

図書館・美術館利用状況

(1) 竹原書院図書館利用状況

本館・視聴覚ライブラリー開館日数 278日

移動図書館車 96日

平成27年度 図書の利用

		本館	移動図書館	合計
個人貸出	登録者数	14,293	—	14,293
	貸出者数	30,417	6,910	37,327
	貸出冊数	138,853	26,248	165,101
団体貸出	登録団体数	240	—	240
	貸出冊数	9,871	32,199	42,070
停本所	停本所数	13	—	13
	貸出冊数	10,788	—	10,788
貸出冊数合計		159,512	58,447	217,959

(2) 美術館利用状況

アートギャラリー・池田コレクション

区 分		平成27年度	平成26年度	平成25年度	
年間開館日数		270日	259日	258日	
展覧会件数		6件	5件	6件	
総入場者数		5,746人	2,876人	10,176人	
展覧会平均入場者数		958人	575人	1,696人	
展 覧 会 入 場 者	1日平均入場者数	21.3人	11.1人	39.4人	
	常 設 展	件数	4件	4件	4件
		開館日数	204日	254日	209日
		入場者数	2,434人	2,485人	2,831人
	企 画 展	1日平均入場者数	11.9人	9.8人	13.5人
		土日祝日平均入場者数	16.4人	13.3人	19.3人
		件数	2件	1件	2件
		開館日数	66日	5日	49日
	入場者数	3,312人	391人	7,345人	
	1日平均入場者数	50.2人	78.2人	149.9人	

文化創造ホール

区 分	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利 用 日 数	130日	126日	150日
展示会	48日	43日	85日
文化講演・講座	9日	7日	4日
演奏会等	2日	1日	1日
参加型イベント	4日	2日	2日
講習会等	32日	26日	29日
展覧会等準備日数	35日	27日	29日
利用件数	55件	47件	42件
年間入場者数	9,466人	11,247人	16,725人
1日平均入場者数	72.8人	89.3人	111.5人

たけはら美術館

平成27年度 年間利用者数

15,212人 (昨年度比 1,089人増)